学校便り「戸町っ子」No.１５

「多様な仲間の中で育まれる社会性」

　新年度が始まり約１か月が過ぎました。学校は、子供や大人を含めて様々な人が共同生活を送っています。当然、人間関係のトラブルも起きています。これは、相手のことをうまく理解できないことが大きな要因だと考えています。

　本校の教育目標「自ら考え、ちがいをみとめる戸町っ子」には、一人一人が異なる存在であることを尊び、共に手を取り合って生きてほしいという願いを込めています。

　学校には、リーダーシップを発揮する子もいれば、集団に馴染むのに時間がかかる子、周りの子に優しく接する子、こだわりが強く譲れない子、感情のコントロールが苦手な子など様々な子がいます。このような「ちがい」がある環境の中で、子供たちは互いの事情を察し、「どうすればみんなで楽しく過ごせるか」を自ら考え、工夫し、調整する力を身に付けていきます。

　誰かが誰かを助けるだけの一方的な関係ではなく、互いのよさを生かし、時には補い合いながら、社会で生きていくための「しなやかな強さ」を育む。この特別支援教育を柱とした共生社会の縮図こそが、戸町小学校が目指す学びの姿です。保護者の皆様にも、子供たちが多様な仲間と共に成長していく姿を、温かく見守っていただければ幸いです。

校長　原口徹弥